

【保護者等向け】児童発達支援評価表

公表年月：2019年3月  
事業所名：エンジェルココティ  
回答者数：19名／利用者数：20名

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない ・ 未回答	ご意見 (原文のまま)	ご意見を踏まえた 今後の対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	6	0		2 他の施設がどの程度のスペースがあるか比較はできないが子供が10人いたら十分なスペースだとは思わない。	法令を遵守したスペースを確保しております。一方で、限られたスペースでの療育となるため、遊びや活動に合わせて机やイスを移動しスペースを広く作る工夫をし、安全に活動を行っております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	4	0		5 その日によってスタッフの多い少ないがあるとのことなので何対何で関わっているのかわからない。	職員の配置基準は満たしております。ST（言語聴覚士）等の専門職も増え、より専門的な支援を行っております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境※1になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	12	0	1		6 施設には一度しか行っていませんのでわかりません。 靴入れ、部屋、トイレ等が分けられており本人に見てとても分かりやすい環境にされています。	入口に段差がありますが、簡易スロープで対応しております。室内はほぼバリアフリー化されております。安全かつ集中しやすい環境に配慮し、個々の発達に応じ子どもたちに分かりやすい工夫を行っております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	1	1		2 お部屋も広く、机やお椅子が子供たちにあつておりのびのび過ごさせて頂いております。	清潔で安心できる環境作りが出来るよう引き続き努めて参ります。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※2が作成されているか	14	2	1		0 家族からの希望にそった計画は作られていない。	保護者様、子どもたちの希望をふまえ、個々のニーズに合った計画、支援が出来るよう努めて参ります。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	3	1		3 ガイドラインを見たことがない。具体的な支援内容を書くことも出来ないと評価になってしまうので具体的には書けない、まず慣れてもらう事だといわれた	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	3	1		6 通所して2ヵ月なのでまだ評価もなく毎回の連絡ノートにもその様な内容は書かれないのでわからない。	支援計画書に基づいた支援を行っております。その日の出来事だけでなく個々の支援に沿ったその日の内容をお知らせしております。
	8 活動プログラム※3が固定化しないよう工夫されているか	10	3	1		6 日々何をしているかわからないので工夫されているかもわからない。	今後も安全・安心に配慮し興味関心を高められるプログラムを取り入れて参ります。また、個々に合わせた取り組みを検討、実施して参ります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	3	6		9	近隣の幼稚園保育園などと交流ができるよう努めて参ります。また、散歩などで地域の方との交流を図って参ります。
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15	1	0		1 契約の際、文章と口頭でしっかり説明がありました。	見学時・契約時にご説明させて頂き、必要に応じて適宜説明をさせて頂いております。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	14	1	1		3 サインして下さいと送迎の際に渡されただけです。	保護者様のご理解が頂けるよう努めて参ります。
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※4等）が行われているか	5	6	4		4	今後、保護者会やST（言語聴覚士）との勉強会など取り組めるよう検討をしております。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	16	2	1		0 連絡ノートや書ききれない時は別紙に状況や対策等、お願いしていますがスタッフに周知徹底されないようです。その為全体としての共通理解はないと思います。	日々の連絡帳でのやりとりや送迎時でのお話など実施しております。継続して共通理解が出来るよう努めて参ります。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	6	6		1 面談はない。して欲しい。定期的ではないが、一度だけSTがお話ししてくれました。	ご希望のある保護者様に対してご相談やご助言ができるよう機会を増やして参ります。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	6	9		4	交流会や行事など開催を検討し、より開かれた施設を目指して参ります。
	16 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8	3	1		7 申し入れについてはやっていただけていません。スタッフ間での申し送り、周知がされていないのだと思います。オムツ・お昼寝・帽子等基本的な生活に対する申し入れさえ対応がバラバラです。	出来る範囲での対応をさせて頂いております。伝達不足の部分があったものと認識しておりますので対応したことは保護者様にお伝えしていく工夫を検討して参ります。また、指導員間での情報共有に努め、保護者様が相談しやすい雰囲気作りを努めて参ります。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	2	0		3 送迎をお願いしている為道路で長話ができませんが、来所していただいたり、電話やメールでの対応などを実施させて頂きます。	
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15	4	0		0 ココティ通信というものは配布されているが連絡体制、情報業務に関する自己評価の結果は発信されていない	毎月紙面に活動報告や連絡事項を記載させて頂いております。また、ブログ等でも活動内容を紹介させて頂いております。自己評価の結果は、室内掲示やホームページで報告させて頂きます。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	3	1		2 Eメールでの一斉送信するとき他の利用者に自分のアドレスがわかってしまう。他の利用者からEメールがきた。	災害時・天候・感染症において一斉メールを行うことがありますが、ご指摘を受け今後は一斉送信ではなく個別でのメール送信を行わせて頂きます。

区分		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない ・ 未回答	ご意見 (原文のまま)	ご意見を踏まえた 今後の対応
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	12	3	1	2	ぜひこれからのマニュアルを作成し周知説明してほしい。訓練もどのようにしているか知りたいと思う。子どもには安全な場所においてほしい。安心して子どもを預けたい。	各種マニュアルを整備しております。緊急時対応に付きましては、入室時や通信等でお伝えして参りました。引き続き避難訓練を定期的に行っていきたいと考えております。また、日々の散歩コースが避難場所である建物や小淵小学校を通る道になっており万が一に備えております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	2	0	4	説明がないのでわからない。	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	14	3	1	1	まだ通所前は大泣き。着替えも嫌がる。楽しいようで元気に登園しています。毎日、行くことを楽しみにしています。	まだご家族と離れる際に涙してしまう事もある子もおりますが、子どもたちが楽しく笑顔で通える様職員一同努力して参ります。
	23	事業所の支援に満足しているか	14	2	1	1	家族の希望と施設の支援したいことが違う気がする。また何を支援しているのかわからないので評価できない。時間が悩みです。5～6時がないので兄弟がいると辛い。言語聴覚士がいてくれてすごく家では教えられないことをやってくれて助かります。	皆様にご満足いただけるようより良い療育の提供に努めておりますが、至らない点も多いものと認識しております。皆様からのご意見を参考にしご満足いただけるよう職員一同取り組んで参りますので今後ともよろしくお願い致します。

(注釈)

※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。